

2014年12月25日

日本電信電話株式会社  
NTTコミュニケーションズ株式会社

## **フィリピンの台風被災地において「移動式 ICT ユニット」を活用した国連プロジェクトを開始 ～日本政府、フィリピン政府の協力のもと、地元自治体・住民と共に実証実験を実施～**

日本電信電話株式会社(以下、NTT)およびNTTコミュニケーションズ株式会社は、日本政府(総務省)とフィリピン政府(科学技術省)、国際連合の専門機関の一つである国際電気通信連合(ITU)<sup>\*1</sup>と共に、2013年11月の台風で大きな被害を受けたフィリピン セブ島の被災地において、通信の即時回復を可能とする「移動式 ICT ユニット」を用いた実証実験を2014年12月から2015年9月までの期間で実施します。<sup>\*2</sup> 実証実験は、国連プロジェクト(ITUプロジェクト)として実施するものです。

今回の実証実験では、セブ島の自治体職員や住民の協力のもと、実環境下において、移動式 ICT ユニットが提供するサービス(通話・データ通信)をご利用いただくことで、提案コンセプトや技術の有用性などを検証いたします。また、今回、実証実験に使用する移動式 ICT ユニットは、NTTのグループ会社であるNTTコミュニケーションズからITUへ提供し、富士通などと共にプロジェクトを運営・支援いたします。

### **<参考> 移動式 ICT ユニット**

大規模災害時に、被災地に搬入・設置することで、避難所などのスポットを短時間でWi-Fiエリア化し、通話やデータ通信の機能を提供可能なシステムです。東日本大震災を契機に、NTT、NTTコミュニケーションズ、富士通、東北大学が総務省からの委託を受けて開発したものです。

### **■今後の展開について**

#### **(1) 国内および諸外国への展開**

NTTおよびNTTコミュニケーションズは、今回のITUプロジェクトでの実績を足掛かりに、今後、世界で発生する大規模災害時の被災地支援への移動式 ICT ユニットの適用を働きかけるとともに、世界の災害が多い諸外国への普及活動を推進してまいります。また、通信インフラが整っていない途上国の ICT 環境の即時構築など、移動式 ICT ユニットの利用用途の拡大を目指してまいります。

#### **(2) R&Dの更なる推進**

NTTおよびNTTコミュニケーションズは、今回の国連プロジェクトの結果も踏まえ、引き続き移動式 ICT ユニットの高度化を進めてまいります。

\*1: ITU-D(電気通信開発局)は、ITUの一部門で開発途上国における電気通信技術の普及推進を主に担当。

\*2: 2014年5月に、ITU、総務省、フィリピン科学技術省の3者で協力合意文章を締結し、ITUのプロジェクトとして、フィリピン セブ島で移動式 ICT ユニットを用いた実証実験を行なうことを決定。

**<参考> フィリピンにおける実証実験の様様**

- ・ San Remigio 市の住民向けに、スマートフォンを活用した通話機能をレクチャー



- ・ 現地の技術者向けに実証実験や技術についてレクチャー

